

新図書館整備計画検討委員会 議事録

日時：令和4年5月20日（金）14時00分～16時00分

場所：長与町図書館3階 ホール

出席者：（教育委員会）山本次長、北野課長、原係長、松本主任、平井主事

今井図書館長、山田司書

（企画財政部）松田課長補佐、田中技師

（アドバイザー）吉村

委員12名（欠席：2名）

（課長）

こんにちは。会が始まる前に、資料の確認をさせていただきたいと思います。本日の会議次第ですね。会議次第、事前にお配りしている。それから、第6回検討委員会用の基本構想（案）、それから、参考資料として第5回にお送りしておりました基本構想（案）、そして最後に本日、お配りをしております、基本構想案の訂正一覧です。よろしいですか。

なお、今日はですね小川委員と近藤委員のほうからは事前に欠席の連絡をいただいております。佐野委員と富永委員につきましてはちょっと遅れるという連絡をいただいております。

それでは、ただいまから第6回新図書館整備計画検討委員会を始めさせていただきます。まず初めに、山本教育次長がご挨拶申し上げます。

（教育次長）

皆様こんにちは。皆様、本日はご多用の中、第6回の検討委員会にご出席をいただき、ありがとうございます。また、日頃より、新図書館整備に関しまして、貴重なご意見を賜り、心よりお礼申し上げます。さて、先日開催された町民ワークショップでは、委員の皆様のおかげで、盛会の内に終えることができました。重ねてお礼申し上げます。本日の検討委員会で、町民ワークショップで出された意見も参考にしながら、基本構想を決定していただければと思います。また、町民向け講演会の講師について、猪谷千香さんをお願いし、承諾をいただきました。日程や場所はこれから詰めてまいります。まずは希望講演テーマをどうするかについても、決めていただければと思います。今後、町民ワークショップや講演会を開催することで、町民の新図書館への関心や期待は、ますます高まることと思います。委員の皆様には、新図書館が「町民に愛され続ける図書館」のため、ご尽力を賜りますようお願いし、開会のご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

(課長)

次に委員長に、ご挨拶をお願いいたします。

(委員長)

こんにちは。ご多用の中、参加いただきましてありがとうございます。先ほどお話もありましたが先般、ワークショップが行われました。参加いただいた皆さん、ありがとうございました。また、諸事情で参加出来なかった皆様ですね、この後説明があるだろうと思いますので、また機会があったらよろしく願います。私は、ワークショップで各グループを回ったんですけど、本当に図書館に対して大きな期待を持っているということを実感いたしました。中には、堂崎遺跡を長与の中心にせよと熱弁を振るわれていた方もいました。ある人は図書館にプラネタリウムを作ってほしい、その1点だけでいいですからと私に言われた人もいました。そのようにたくさん、この図書館に対する要望、お願いがあり、本当にありがたいなと思っています。そして、そういう期待の中でも、長与町はもちろんですが、様々なところからいらっしゃる方々から、素晴らしい図書館にしていけないと痛感した次第です。今日は、基本構想の最後ということになりますので、皆さん方に意見をいただいて、素晴らしい基本構想ができればなと思っていますので、よろしく願います。

(課長)

はい、それでは検討委員会規則第3条第4項に基づき、議事の進行を委員長をお願いしたいと思います。委員長よろしく願います。

(委員長)

それでは、議題1構想案について説明をお願いいたします。

(松本)

まず初めに、先日行われた町民ワークショップについて、報告します。当日は、下は9歳から上は79歳までの町民21名が参加し、検討委員会からもスタッフとして、6名参加いただきました。当日参加いただいた委員の皆様は、ご協力いただき、ありがとうございました。当日の流れとしては、基本構想(案)を事務局より説明し、基本構想(案)に対する意見聴取をし、グループワークを行いました。グループワークでは、4～5名のグループを5班つくり、各班に検討委員と職員が2名ずつ進行役として参加し、「どんな図書館を望むか」をテーマに1人5枚付箋紙に書いてもらい、最後にはグループごとに発表をしてもらいました。まず、基本構想(案)について出された意見をまとめたものが会議次第の2ページと3ページになります。事前に送付しているため、読み上げは省略させていただきます。次に、各グループから出された「どんな図書館を望むか」を書き出したものが、

4から7ページになります。こちらを読み上げは、省略させていただきます。そして、8ページが「どんな図書館を望むか」を単語ごとにAI抽出した結果になります。真ん中の「集える」や「親しめる」、「長与町」が頻出単語となっています。こちらの8ページに関しては、アカデミックリソースガイドの吉村さんに説明をお願いしたいと思います。

(吉村)

今回、AI抽出で、頻出単語がサイズが大きくなるようにしています。これを見ていくと、一番大きなものに「集える」「長与町」という単語が出ています。これは他の町では出ないときもある。町の名前が出てくるところは、町民が町に誇りを持っているところです。その他に、「集える」「親しめる」「くつろげる」という単語があるが、ここからは、その場所に行き誰かと過ごしたい、交流したいといった新しい図書館が求められているのではないかと思います。大事なことは、今回の意見が町民の総意と捉えるのではなく、今後続く町民ワークショップで出る意見に向き合うことが大事だと思います。そういったプロセスを踏んでいく中で、より根源にある思いを構想や計画に込めていけるのではないかと思います。

(松本)

次に、町民ワークショップに参加した委員の皆様から感想を聞きたいと思います。

(委員)

私のグループに長与町図書館に来たことがない親子がいて、グループワークに参加してくれてとてもよかった。図書館に来たことがない理由を聞くと、外観が古臭く入る気にならないということでした。やっぱり入りたくなるような建物ということも、基本計画の中で具体的になっていくと思います。教育長をはじめ、行政からも多数参加があり、本気だと感じました。

(委員)

私の想像を超えることがいっぱい出てきて、驚きました。高校生や小さい子供から年配の方が来て、驚いたのは天体望遠鏡が欲しいという話でした。とてもいい機会でした。

(委員)

私のグループに高校生がいて、積極的にリードしてくれた。高校でも活動していて、新図書館ができれば、そういった発表会もあったらいいなと思いました。参加は少なかったが、いろいろな意見が出た。人数が増えれば、もっと意見が出ると思う。広報期間をもっと増やせばいいと思う。

(委員)

私のグループにいた高校生は、委縮して意見があまり出なかった。50年後を見据えているから、若い人たちの意見をもっと聞けたらいいなと思いました。あと、みんなが集えるものがいいと全体的になっていたが、私のグループの人が「こういう公共の場では静かにする」と教えるのも大事だと言っていました。喋るスペースと静かなスペースが必要と思いました。

(委員)

シーンとしている時間がなく、誰かが話して他の人が聞いているといういい話し合いだった。カフェやマルシェなどの意見が偏ると思っていたが、長与の歴史がわかるスペースが欲しいとか、平和の本など、本や資料を充実させてほしいと図書館の基本を言っていて、意外でした。

(松本)

ありがとうございました。続きまして、基本構想について説明します。

～以降、基本構想（案）の策定作業になるため非公表とします。～

(委員長)

最後にございませんか。いいでしょうかね、それでは事務局に修正をお願いし、構想はできあがったということにしたいと思います。その他の部分についてお願いいたします。

(松本)

3点あります。1点目です。町民向け講演会の講師として「猪谷千香」さんに、来ていただけることになりました。日程はまだ決まっていますが、講演テーマについて、この場で希望テーマを決め、それを猪谷さんに伝えたいと思います。何かありませんか。

～以降、講演会テーマ、他自治体図書館視察について話し合いのため非公表とします。～

(松本)

3点目です。次回の検討委員会について6月27日月曜日、13時30分から15時30分、場所は同じで予定しております。よろしく申し上げます。

(委員長)

以上ですね。本当にありがとうございました。

(課長)

最後に閉会のご挨拶を副委員長にお願いしたいと思います。

(副委員長)

お疲れさまでした。やはり、何かを生み出すということは、生みの苦しめでいろいろ大変で、何よりも事務局が大変だろうなと思います。本当にもう今からどんどんタイトなスケジュールになっていくと思いますので、皆様、気をつけて、また次回お会いできるように、期待しております。ありがとうございました。